



# ＜文部科学省後援＞ 2019年度 ELEC夏期英語教育研修会

2019年7月27日(土)～8月16日(金) 各コース1日制



「より生徒のためになる授業を！」 「授業に生かせるアイデアを！」

「ほかの先生方の授業を実際に見てみたい！」

ELECでは、全国の中学・高校の先生方、教員志望の学生の皆様、また英語教育に関心がある方々を対象に、「ELEC英語教育研修会」を開催。1957年より、のべ22,000人以上の方にご参加頂いています。毎回多くの熱心な先生方が参加され、交流を深めながら授業改善を目指しています。より生徒のためになる授業、力がつく授業を作っていきたい。そんな先生方のご参加をお待ちしております！

## ♪♪ 受講生の皆様の声 (アンケートより抜粋) ♪♪

### 何を期待して参加されましたか？

具体的な授業の展開・進め方を知りたい  
教科書に基づいた中学・高校英語の指導法を学びたい  
生徒にどのように対応したらいいか、ヒントを得たい  
1学期の授業を見直し、2学期からの授業力向上を図りたい  
日々の授業で使えるアイデアやヒントの引き出しを増やしたい

### 受講後のご意見・ご感想

とても役立つアイデアや視点をもらいました  
次の学期に前向きに取り組む元気と勇気をもらいました  
自分のスキルアップをしないと生徒がかわいそうだと感じました  
自分の学校と共通の問題点もよく見え参考になりました  
他校の先生方と意見交換できフィードバックを得ることができました

### 一般財団法人英語教育協議会 ELEC英語研修所

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-9  
コンフォール安田ビル(会場は地下1階です)  
TEL: 0120-39-8685 / 03-3219-5221  
FAX: 03-3219-5988 E-mail: info@elec.or.jp  
会場地図はELECホームページの「交通アクセス」でご覧いただけます  
<http://www.elec.or.jp/location.html> をご参照ください。

### 研修のスケジュール・概要

◎日程 7月27日(土)～8月16日(金) 7/29, 8/5, 8/12(月)を除く  
◎時間 午前の部 9:30-12:20 午後の部 13:30-16:20  
◎会場 ELEC英語研修所(コンフォール安田ビル地下1階)  
◎定員 68名  
◎受講料 各コース1日制 ¥10,800 (税込・資料代を含む)  
◎キャンセル締切 日曜・祝日を除く受講日の2営業日前17:00

### 【お申し込みからご受講までの流れ】

①ホームページ・FAXからお申し込み⇒②申込日から1週間以内に受講料をお振込みください⇒③ELECより入金・申し込み完了のご連絡⇒④当日のご受講

ELEC教員研修部のFacebookや  
Twitterでも情報を発信しています



@elec\_kenshu



英語教員のためのポータルサイト  
「えいごネット」<http://www.eigo-net.jp>



<https://www.facebook.com/elecenglish>

# 2019年度 文部科学省後援 ELEC夏期英語教育研修会 プログラム (1/3)

A1 7/27 (土)	午前	センテンス・レベルの 話すこと・書くことの指導	本講座では次の事柄を中心に扱います。 ○文レベルの正確さや複雑さを高める指導法 ○英文を発信(produce)するプロセスを考慮した指導法 ○教科書本文を扱いながら、英文を発信させる方法	工藤洋路 (玉川大学)
	午後	思考力・判断力・表現力等を育てる 指導と評価	新学習指導要領の育成すべき資質・能力の三つの柱の一つである「思考力・判断力・表現力等」の指導方法と、「思考・判断・表現」の評価方法(テスト問題のつくり方等)について紹介します。	本多敏幸 (千代田区立九段中等教育学校)
A2 7/28 (日)	午前	教科書本文を使って深い学びができる タスク作りを考える	高等学校コミュニケーション英語の教科書を使って、内容理解だけに終わらず、さらに内容について考え、本文を利用しながらのアウトプット活動を目指すタスク作りについて、参加者を生徒に見立てたワークショップを通じて体験していただきます。	浅見道明 (筑波大学附属高等学校)
	午後	中高ギャップを埋める ～基礎力定着の工夫～	学校英語教育では、中学英語定着のないところへ、高校英語を乗せようとしてうまく行っていないのが現状です。この講座では、中高ギャップを埋め、基礎力の定着のために実際に行われている事例を紹介します。	金谷憲 (東京学芸大学名誉教授)
A3 7/30 (火)	午前	英語の授業を通して何を教えるか	英語教員の心構え、将来英語が要らない生徒たちが受けて価値がある授業とは、SDGsと英語授業、分かる授業、できる授業、x軸(知識及び技能)・y軸(思考力、判断力、表現力)・z軸(学びに向かう力、人間性等)	田尻悟郎 (関西大学)
	午後			
A4 7/31 (水)	午前	生徒の学びが生まれる瞬間をどう作るか — 題材・場面設定を大切に、生徒が主体的になる 内容、方法を中心に据えて —	様々に試行錯誤しているのに、生徒の反応がいまひとつ、彼らに力がついているのか分からない、そんなことはありませんか？失敗談も交えながら、生徒が主体的に学び、考え、表現していく方法を共有していきます。	吉崎理香 (富山大学附属中学校)
	午後	豊かな「やり取り」が生まれる授業を創ろう	(学習者体験)講師が現場で行った実際の授業の映像を視聴したり、講師による模擬授業を受けたりしてみましょう。(授業構想)その上で、自分なりの授業展開を構想します。夏休み明けの授業作りに生かしましょう。	田村岳充 (宇都宮大学)
A5 8/1 (木)	午前	アクティブラーナーを育てるための 仕掛けのつくり方	生徒たちの英語学習に対する興味を引き出し、自立的に学習をさせるための授業づくりの視点を実践事例も示しつつ紹介していきます。悩みをお抱えの先生方いっしょに考えていきましょう！	豊嶋正貴 (文教大学付属中学校・高等学校)
	午後	英語で行う高校英語の授業の実際	CLILの手法を用いた思考力を養う英語の授業 —English Communication I の授業—	佐藤留美 (麹町学園女子中学高等学校)
A6 8/2 (金)	午前	北原「ホントの」ファイナル！ 北原メソッドの集大成	英検準2級取得率過去最高の56%を達成するにあたって大きく貢献した授業コンポーネントを1日かけてお話ししたり、ワークショップしたりします。「北原メソッド」を通して、英語を教えることの楽しさも存分に味わって下さい。	北原延晃 (港区立赤坂中学校)
	午後			

# 2019年度 文部科学省後援 ELEC夏期英語教育研修会 プログラム (2/3)

A7 8/3 (土)	午前	小学校で身に付けた英語を 中学校で発展的に伸ばす指導	小学校では今何が起きているのか？—小学校英語を知らずして、中学校英語教育は成り立たなくなってきました。小中連携を意識し、小学校で身に付けた能力を更に中学校で伸ばし切れるよう研修を深めましょう！	瀧沢広人 (岐阜大学)
	午後	アクティブに学ぶ生徒が育つ 英語授業マネジメント	生徒が主体的に学び合う中で、発話の即興力と瞬発力を育てる言語活動と生徒の深い思考を促す授業の実践をワークショップ形式でご体験いただきます。また、生徒のやる気を高めアクティブな授業にするポイントをご紹介します。	胡子美由紀 (広島県広島市立古田中学校)
A8 8/4 (日)	午前	小学校からつなげる中学校英語の文法指導 ～コミュニケーション活動への展開～	先行実施で外国語を学習した児童が、中学1年生になりました。小学校での学習を無駄にすることなく中学校での文法指導をどのように展開すべきか、導入から実際の言語使用の場面を想定した活動までを提案します。	小菅敦子 (東京女子大学兼任講師)
	午後	発音はどう指導するか ～日々の授業の中でできること～	生徒は、英語らしくて通じる発音を身につけたがっています。「通じる発音」は聴く力にもつながるはず。日々の授業のどんな場面で、どんな言葉を使って、どんな指導をすればよいのか。中学・高校での実践をもとにお話しします。	手島良 (武蔵高等学校・中学校)
A9 8/6 (火)	午前	使える英語につながる 教科書本文の扱い方	・単調にならない教科書本文の扱い方 ・英語で行う授業で、教科書本文をどう理解させるか ・本文の量が多い Read のページの扱い方 ・「音読して終わり」をどう越えるか	久保野りえ (筑波大学附属中学校)
	午後	新学習指導要領を意識した授業改善	・安心して「やり取り」ができる学習集団の作り方 ・即興的な「やり取り」からエッセイライティングへ ・中学校でも無理なくできる教育ディベート	大野理智子 (秋田県東成瀬村立東成瀬中学校)
A10 8/7 (水)	午前	英語リーディングにおける 思考力・判断力の指導	英文を大局的に読み、書き手の意図や情報を整理しながら考え、「判断する」「推測する」「論調・流れ、空気を読む」力を育てる活動を体感する。	卯城祐司 (筑波大学)
	午後	中学・高校における4技能向上に つなげる効果的なリーディング指導	1. 検定教科書を使用した4技能指導 (リスニングとリーディング・リーディングからスピーキング、ライティングへ) 2. 教材を使用した発展的リーディング指導 (継続的速読指導・多読から発表活動へ) (2013年度ELEC賞受賞者)	中野達也 (駒沢女子大学)
A11 8/8 (木)	午前	アクティブラーニングを用いた 主体的・対話的に学ぶ力を育成する授業	4技能5領域の対応型授業の組み立て方と評価方法や、教室が英語で思考・表現する空間になるのを体験し、効果的なタスク作りやディスカッション活動を通して、生徒が「主体的・対話的に」学び合う授業づくりを共に考えます。	布村奈緒子 (東京都立両国高等学校)
	午後	学習者の学びと思考を促す 高校英語授業の指導と工夫	学習者視点で「思考・判断・表現」と4技能統合をめざす授業デザインとアイデア、LOTSからHOTSへ、理解・定着から「深い学び」へ、生徒のやる気を引き出す協同学習や教科書を効果的に活用する言語活動の工夫と体験。	吉住香織 (神田外語大学)
A12 8/9 (金)	午前	全国学力調査を通して、 4技能の指導と評価を考える	2019年4月に初めて行われた中学校英語の全国学力調査問題を分析しながら、教科書の学習を通してどのように4技能を育成し評価するのか、中高6年間を見通して考えます。	久保野雅史 (神奈川大学)
	午後	教室での「やり取り」を 活発にするための工夫	教師・生徒間、また、生徒・生徒間の「やり取り」について具体例を検討しながら、生徒の考えを引き出して活動により主体的に参加させ、より深い学びにつなげる工夫と留意点について考えましょう。	三浦幸子 (都留文科大学)

# 2019年度 文部科学省後援 ELEC夏期英語教育研修会 プログラム (3/3)

A13 8/10 (土)	午前	<b>表現力を伸ばす 5ラウンドシステムの英語授業</b>	自己表現力を伸ばすことを目標に、教科書を何度も繰り返すラウンド制授業。自己表現する元となる土台を築きつつ、それらを用いて即興のやり取りや発表等ができる表現力を伸ばす具体のプロセスを体験的に紹介します。	<b>西村秀之</b> (横浜市教育委員会指導主事)
	午後	<b>導入から音読へ、音読から言語活動へ</b>	教科書本文のoral introductionから音読への流れ。段階的な音読指導の展開。音読を他の学習活動や言語活動に活かす方法。音読と4技能との関連。音読指導から効果的な授業について考えましょう。	<b>溪内明</b> (文京区立本郷台中学校)
A14 8/11 (日)	午前	<b>リスニングを教える</b>	リスニングをもう少し実践的、理論的に、そして楽しく教えられないものでしょうか。講師の普段着のリスニング授業を体験していただきます。1. TOEIC Part1~4を教える 2. トレーニング方法を教える 3. 発音で教える 4. ストラテジーを教える 5. 歌や映画で教える	<b>柳川浩三</b> (法政大学)
	午後	<b>英語教育における効果的な文法指導： 理論と実践</b>	慣習的な指導法からより良い指導法へ／文法指導の各種アプローチ：理論，学習指導要領，実践例，留意点／文法知識の見直し	<b>馬場哲生</b> (東京学芸大学)
A15 8/13 (火)	午前	<b>生徒が楽しく学び、生徒が力をつける授業 —ミクロとマクロの視点で</b>	「生徒が楽しく学び、生徒が力をつける授業」は、生徒が主体的に活動し、協働して考え表現する授業です。具体的な授業構成のポイントや、音声指導、生徒を主体的にする活動、段階的な指導を中心に紹介します。	<b>伊藤正彦</b> (大妻多摩中学高等学校)
	午後	<b>生徒が「楽しい」と思える 英語で行う授業の工夫</b>	生徒をやる気にさせる—それが教師としての原点だと考えています。本講座では、活動を中心とした授業の工夫を授業の4場面(イントロ、展開、練習、まとめ)に分け、理論的背景もまじえてお話し、受講者の皆さんとディスカッションしていきます。	<b>前田昌寛</b> (金沢星稜大学)
A16 8/14 (水)	午前	<b>言語習得につながる 授業づくりのポイント</b>	授業づくりのポイントを、言語習得の視点から考えます。「インプット、アウトプット、インタラクションのしかた」「TBLT(Task based language teaching)」「focus on form」などのトピックを取り上げます。	<b>太田洋</b> (東京家政大学)
	午後	<b>授業のねらいに合わせた 音読指導を考える</b>	音読の大切さは認識しながら、一度のリポート練習で終わりという授業も見られます。指導のねらいに合わせた音読方法の工夫、どのように授業に音読を組み込んでいくと効果的かを体験しながら考えてみます。	<b>阿野幸一</b> (文教大学)
A17 8/15 (木)	午前	<b>課題解決型の言語活動 への転換とgrammaring</b>	文法指導がコミュニケーションを図る活動に繋がるにはgrammaring (Larsen-Freeman, 2003) の理解が必須である。場面に適切な英語使用には「コミュニケーションにつながる文法指導」が基本であることを小中高等学校での指導内容(課題解決型の活動)を通して体感する。	<b>高島英幸</b> (東京外国語大学名誉教授)
	午後	<b>英語論説文を用いて 思考力と読解力を鍛える</b>	英語論説文でクリティカルに考える力を育成する／三段論法(対偶や必要条件なども含)に基づいて論説文の構造・内容を理解する／実際の入試問題の英文を読みながら思考と読解のコツを体験する	<b>片山七三雄</b> (東京理科大学)
A18 8/16 (金)	午前	<b>The Consecutive Interpreting Approach に基づく英語授業</b>	・学生からの授業評価が高い音声中心の学習法について ・研究から応用へ(授業から英検1級対策まで) ・参加者との継続的研究基盤の確立 (2011年度ELEC賞受賞者)	<b>飯塚秀樹</b> (獨協医科大学)
	午後	<b>新学習指導要領: 授業が変わる Can-doリスト作成の実際</b>	次期指導要領のポイントとなる4技能5領域の指導は、各領域の優れたCan-doリストに支えられています。今回はその中の「話す(やり取り・発表)」技能に焦点を当てたCan-doリストの作成について、ワークショップを行います。	<b>吉田章人</b> (日本女子大学附属高等学校)